

養蚕業復活・再生、健康食品向けカイコ・シルクの生産供給拠点へ！

## 次世代養蚕拠点経営者 募集

～岩手大学発ベンチャー企業の最先端技術を核とした  
養蚕プロジェクト「モスラ復活大作戦」とのコラボレーション～

北上市は、岩手県内陸南部に位置し、北上川と和賀川によって生まれた肥沃な大地の広がる人口約93,000人のまちです。仙台藩と南部藩の境にあった当地は、南北を走る奥州街道、東西を走る平和街道の宿場町、また北上川舟運の拠点として発展し、現在も東北新幹線と東北・秋田自動車道の自動車交通の要所となり、北東北3県の十字路・玄関口として企業の進出が相次いでいます。

この北上市の北東部にある更木地域において、養蚕技術と最先端の科学技術を活かし、新たな産業の創出と地域活性化を目指すプロジェクト「モスラ復活大作戦」が始まろうとしています。



北上川と和賀川の合流点（北上駅付近）

**目的：①北上市でかつて盛んだった養蚕を復活・再生させ、健康食品の原料として、日本初となるカイコ・シルク生産供給基地を構築します。**

**②養蚕の歴史・文化の伝承や体験プログラムの企画・PR活動を行います。**

更木地域は北上市内全16地域のうち北東部に位置し、人口約1,200人の地域です。この地域ではかつて蚕（カイコ）を飼育し、繭を生産する養蚕業が盛んでしたが、時代の流れとともに衰退し、カイコの餌である桑畑も放置されていました。これを活用しようと、平成21年に(株)更木ふるさと興社が設立され、桑茶の製造販売を中心に事業を進めています。桑の持つ成分は様々な研究等により健康への作用が注目されており、「更木桑茶」は、市内外から地域の名産品として知られるようになっていきます。



桑園



更木桑茶

一方、養蚕業は、これまで絹織物の原料として生糸生産が営まれてきましたが、近年、カイコやシルクに含まれる成分の健康や美容に与える効果が注目され、健康食品や化粧品等として需要が高まっています。

更木地域では、北上市内に唯一残っていた養蚕農家が昨年廃業してしまい、飼育技術や生産基盤が失われようとしています。このため、更木ふるさと興社と岩手大学発ベンチャーの(株)バイオコクーン研究所が連携して行うプロジェクト「モスラ復活大作戦」と次世代養蚕拠点経営者がコラボレーションしながら、養蚕業を復活・再生させ、健康食品等の新たな産業の創出や地域活性化につなげていきたいと考えています。

### 求めること：次世代養蚕拠点経営者の役割

今回は2名の経営者を採用する予定です。この活動は更木ふるさと興社に新たに立ち上げる養蚕事業部門との協働により行い、経営者には次の業務に取り組んでいただきます。

#### ○養蚕技術の習得、機材・資材の収集、飼育実証、生産技術の確立

養蚕の専門家に指導を受けながらカイコの飼育実証を行います。必要となる機材や資材の収集など飼育環境の準備をした後、実際にカイコの飼育をすることによって養蚕技術を習得します。健康食品向け繭生産は従来養蚕とは異なることから、技術改良をしながら安定的な生産体制の構築を目指します。

#### ○養蚕の歴史・文化資料の収集、新商品の開発、養蚕体験プログラム企画

養蚕の歴史や文化資料を収集・整理し、地域資源として活用するための魅力を発掘します。また、生産されたカイコやシルク、桑を利用した新商品の開発に取り組み、収益となる事業を立ち上げるとともに、養蚕の体験プログラム等を企画することにより、更木地域の養蚕をPRし、地域活性化と交流人口増加を目指します。



(株)更木ふるさと興社



桑葉と蚕



©TOHO CO., LTD.

※「モスラ」は蚕(カイコ)がモデル。養蚕が「モスラ」のように蘇えり、平和と繁栄をもたらすことを願うものです。

## モスラ復活大作戦 食べる!?養蚕イノベーション地域おこしプロジェクト

超高齢社会の到来、人口減少による地方消滅などが心配されるなか、岩手県の大学発ベンチャーと農産加工事業者が中心となり、人々を健康に、地域社会を豊かにすることを目指し、2018年4月、科学技術と養蚕の復活・再生による新産業創出・地域活性化プロジェクトが始動します。

### ◆プロジェクト概要

- ① カイコ・シルク等を活用した革新的な健康食品の研究開発と事業化
- ② 養蚕の復活・再生による健康食品向け原料の生産供給拠点の構築
- ③ 養蚕資源を活用した地域特産品の開発や交流・観光事業の展開
- ④ 養蚕の歴史・文化の伝承とカイコ飼育による小学生の学習等の支援

### ◆構成メンバー(予定)

(株)バイオコクーン研究所(岩手県盛岡市)、(株)更木ふるさと公社(北上市)、更木振興協議会(同)、岩手大学、北上市、岩手県ほか ※特別協力 東宝(株)

<p><b>業務概要</b></p>	<p>(株)更木ふるさと興社が受け入れ団体となり、養蚕に関わる次の事業に取り組んでいただきます。</p> <p>①養蚕技術の習得、機材・資材の収集、飼育実証、生産技術の確立など</p> <p>②養蚕の歴史・文化資料の収集、新商品の開発、養蚕体験プログラム企画、情報発信など</p> <p>&lt;任期終了後のイメージ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・任期内で培った技術を活かして、養蚕農家として独立</li> <li>・養蚕事業担当として、更木ふるさと興社や関連企業に就職し、継続して活動を実施。</li> </ul>
<p><b>募集対象</b></p>	<p>(1)年齢が概ね20代から40代の方（性別は問いません）</p> <p>(2)現在、三大都市圏又は地方都市等（過疎、山村、離島、半島などの地域に該当しない市町村）に居住し、委嘱後に住民票を北上市に異動し、居住できる方</p> <p>(3)心身が健康で、かつ地域おこし活動に意欲と情熱を持っている方</p> <p>(4)普通自動車運転免許を取得している方（自家用車両を所有している方歓迎）</p> <p>(5)パソコンを日常的に使用している方（基本的なパソコン操作ができる方）</p> <p>(6)地域おこし協力隊の活動期間終了後に、北上市のまち育てに継続して参加したいという意欲をお持ちの方</p>
<p><b>募集人数</b></p>	<p>2名</p>
<p><b>勤務地</b></p>	<p>北上市内</p> <p>※(株)更木ふるさと興社を活動拠点とします。</p> <p>住所 北上市更木22地割9番地2</p>
<p><b>勤務時間</b></p>	<p>月20日 1日8時間程度</p> <p>ただし、勤務内容により上記以外の時間帯を勤務時間に指定する場合があります。</p>
<p><b>雇用関係</b></p>	<p>無</p>
<p><b>活動形態・期間</b></p>	<p>(1)北上市から北上市地域おこし協力隊隊員として委嘱します。</p> <p>(2)平成30年4月以降の委嘱開始とし、通算3カ年の活動を予定しています。委嘱開始日は、事情に合わせて相談に応じます。</p>
<p><b>報酬等</b></p>	<p>月額200,000円を報償費として支払います。ただし、月の勤務日が20日未満となった場合は、活動日数に日額10,000円を乗じた金額とします。</p>
<p><b>待遇等</b></p>	<p>○活動経費として支払いが可能なものは主に次のとおりです。経費は市と隊員が協議のうえ決定します。（※1）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内での住居借上げ費用（※２）</li> <li>・活動に必要な自動車やパソコン等の借上げ費用</li> <li>・活動車両の燃料費</li> <li>・活動に要する消耗品費</li> <li>・活動にかかるイベント経費等</li> <li>・活動にかかる旅費</li> <li>・研修参加費及び旅費</li> <li>・その他市長が必要と認める経費</li> </ul> <p>※１ 予算の範囲内で活動経費として支払います。</p> <p>※２ 光熱水費等は自己負担となります。</p> <p>○休日・休暇は受入れ団体の取り扱いに準じることとします。</p> <p>○任期終了の前後１年間に於いて、北上市内での起業に係る経費を上限100万円の範囲内で補助します。</p>
<b>選考の流れ</b>	<p>選考は、市と受入れ団体が協働で行います。</p> <p>第一次選考 書類審査</p> <p>第二次選考 面接（農林部長、農林企画課長、受入れ団体の長等）</p>
<b>選考について</b>	<p>最終選考の面接の際には、どのような事業に取り組みたいか発表していただき、下記の３点から判断し、採用を決定します。</p> <p>(1) 地域への波及効果</p> <p>(2) 事業性</p> <p>(3) 地域との親和性</p>
<b>備考</b>	<p>(1) 隊員のスキルアップのため、全国の隊員が集まる研修会等に参加できます。</p> <p>(2) 活動期間中において、任期期間満了後に北上市に定住するための活動として、市に事前相談の上で起業等に繋がる副業を行うことができます。</p> <p>(3) 北上市での生活及び活動に関して、相談支援を行います。</p> <p>(4) 隊員の活動については、定期的に市役所内の関係部署で共有するとともに、広報等でその活動を周知し、隊員が活動しやすい環境づくりを行います。</p>